

	<p>が図られている。</p> <p>拠点プロジェクト、地域連携プロジェクト、大規模イベントの支援に関する効果 「室蘭港祝津絵鞆地区土地利用構想」「室蘭市レインボープロジェクト」など地域振興が図られる事業に貢献している。また、「北海道ポリ塩化ビフェニル廃棄物事業」によるPCB処理施設が室蘭市に立地予定であり、北海道内のPCB無害化処理を行う予定である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道の駅「みたら室蘭」など周辺施設（入込数約40万人）のアクセス向上。 ・室蘭駅周辺に、商業圏域拡大により大型店舗の進出がみられる。 <p style="text-align: right;">その他8項目</p> <p>その他評価すべきと判断した項目 伊達市地域プロジェクトへの貢献 白鳥新道供用により、室蘭市の病院への利便性が向上などにより、伊達市にて行われている「プライムヘルシータウン」への支援が図られている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宅地分譲数（H10～H14）378件 ・土地価格の上昇 中央地区 H9 15,500円 H15 18,500円/m² 																								
事業による環境変化	<p>環境影響評価に対応する項目 環境影響評価対象外事業である。</p> <p>その他評価すべきと判断した項目 白鳥新道供用前後の国道36・37号沿道環境基準（騒音値）の改善が図られている。</p> <table border="1" data-bbox="183 694 1061 884"> <tr> <td>室蘭市輪西</td> <td>昼間 77dB (H8)</td> <td>74dB(H14)</td> <td>要請限度改善</td> </tr> <tr> <td></td> <td>夜間 71dB (H8)</td> <td>69dB(H14)</td> <td>要請限度改善</td> </tr> <tr> <td>室蘭市中島本町</td> <td>昼間 76dB (H8)</td> <td>73dB(H14)</td> <td>要請限度改善</td> </tr> <tr> <td></td> <td>夜間 72dB (H8)</td> <td>68dB(H14)</td> <td>要請限度改善</td> </tr> <tr> <td>室蘭市東町1丁目</td> <td>昼間 76dB (H8)</td> <td>72dB(H14)</td> <td>要請限度改善</td> </tr> <tr> <td></td> <td>夜間 70dB (H8)</td> <td>66dB(H14)</td> <td>要請限度改善</td> </tr> </table>	室蘭市輪西	昼間 77dB (H8)	74dB(H14)	要請限度改善		夜間 71dB (H8)	69dB(H14)	要請限度改善	室蘭市中島本町	昼間 76dB (H8)	73dB(H14)	要請限度改善		夜間 72dB (H8)	68dB(H14)	要請限度改善	室蘭市東町1丁目	昼間 76dB (H8)	72dB(H14)	要請限度改善		夜間 70dB (H8)	66dB(H14)	要請限度改善
室蘭市輪西	昼間 77dB (H8)	74dB(H14)	要請限度改善																						
	夜間 71dB (H8)	69dB(H14)	要請限度改善																						
室蘭市中島本町	昼間 76dB (H8)	73dB(H14)	要請限度改善																						
	夜間 72dB (H8)	68dB(H14)	要請限度改善																						
室蘭市東町1丁目	昼間 76dB (H8)	72dB(H14)	要請限度改善																						
	夜間 70dB (H8)	66dB(H14)	要請限度改善																						
	<p>事業を巡る社会経済情勢等の変化</p> <p>人口・産業の社会的状況 ・室蘭市人口については、事業化当時150,199人（S55国勢調査）開通後103,278（H12国勢調査）人口は、減少傾向にある。伊達市の人口については、供用時35,380人（H10）現在36,080人に増加している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・室蘭市の工業出荷額は、事業化当時（S56）に比べて、基幹産業の製鉄・製鋼業の衰退により、平成2年度までには34%減少している。その後は、ほぼ横倍であるが、近年では電気機械機器製造業が伸び等により、増加傾向である。 ・室蘭圏（室蘭市、伊達市、登別市）の観光入込み客数は、昭和60年からほぼ横ばいで推移。供用前（S60）590万人 供用後（H14）560万人 ・高速道路事業（北海道縦貫自動車道）の変化については、昭和61年登別室蘭IC、平成3年室蘭IC供用、平成4年伊達IC供用、平成13年国縫IC供用まで北海道縦貫自動車道の整備が進んでいる。 伊達IC～室蘭IC間 H6：3,800台/日 H15：4,350台/日 室蘭IC～登別室蘭IC間 H6：4,240台/日 H15：5,100台/日 																								
	<p>今後の事後評価の必要性及び改善措置の必要性 白鳥新道の供用より、室蘭市幹線道路の環状道路網が形成されたことにより、交通の分散化が図られ、渋滞の緩和、旅行速度の改善が図られている。また、社会経済情勢が衰退傾向の中、周辺プロジェクトを支援し地域活性化に貢献している。大きな社会情勢や交通量の変化がない限りにおいては、今後の事後評価の必要は生じないと思われる。また、改善措置については、これからも計画的な維持管理を推進し、維持管理費用のコスト低減に努める。</p>																								
	<p>計画・調査のあり方や事業評価手法の見直しの必要性 特に同種事業の計画のあり方や事業評価手法の見直しの必要はない。</p>																								
	<p>特記事項 特になし。</p>																								

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。